

コード	401030902
記入日	H23.6.6

課コード	116
課名	水産課
課長名	太田 均
担当者	安永 佳秀

事務事業事後評価表

作成年度	平成 23 年度
------	----------

評価対象事業名称	新上五島西地区漁村再生交付金事業
----------	------------------

事業種類	継続事業
事業期間	平成 20 年度 ~ 平成 22 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	4	政策名称	自立する産業の育成、雇用の確保	款コード	6
施策コード	401	施策名称	水産業の振興	項コード	3
基本事業コード	40103	基本事業名称	水産業基盤整備の推進	目コード	4
事務事業コード	4010309	事務事業名称	国庫補助事業費（漁村再生交付金）	細目コード	1051
関連計画	法令・条例規則等		漁港漁場整備法		

計画 (PLAN)		※単年度事業及び単年度繰返事業については、全体欄を****とする。				
対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 漁業者		(対象指標1) 2,218人				
(対象2)		(対象指標2)				
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
・自然石を敷き詰めたマウンドの上に食害防止ネットを施した藻場礁を設置し、効果調査を行った。 →藻場造成 3箇所（漁生浦、道土井、曾根地区） →藻場礁設置 27基 →藻場面積 4,500㎡ →効果調査 3箇所	・平成20・21年度 →藻場造成 3箇所（漁生浦、道土井、曾根地区） →藻場礁設置 27基 →藻場面積 4,500㎡ →効果調査 1箇所（漁生浦地区） ・平成22年度 →効果調査 2箇所（道土井、曾根地区）	① 藻場造成	3箇所	100%	実施箇所3箇所+計画箇所3箇所	平成21年度
		(達成率分析)	計画どおり3箇所の藻場造成を行った。			
		② 藻場礁設置	27基	100%	藻場礁設置実績27基+藻場礁設置計画27基	平成21年度
		(達成率分析)	計画どおり27基の藻場礁を設置した。			
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
		① 藻場面積	4,500㎡	100%	造成面積実績+造成面積計画	平成21年度
		(達成率分析)	計画どおりの藻場面積を造成した。			
・近年の磯焼け現象により藻場の消失が進んでいることから、藻場の造成を行い有用資源の回復を図ることを目的とする。		② 藻場効果調査	3箇所	100%	効果調査実績+効果調査計画	平成22年度
		(達成率分析)	計画どおり2箇所の藻場効果調査を行った。			

実施 (DO)		※単年度事業及び単年度繰返事業については、評価実績年度及び全体計画欄のみ記載する。				
	単位	全体計画 H 20 ~ H 22		21年度以前	22年度	
		計画	実績	実績	計画	実績
活動指標	① 箇所	3	3	3	-	-
	② 基	27	27	27	-	-
成果指標	① ㎡	4,500	4,500	4,500	-	-
	② 箇所	3	3	1	2	2
総事業費 C (A+B)	千円	52,430	51,899	49,730	2,700	2,169
直接事業費 A	千円	49,630	49,099	47,630	2,000	1,469
人件費 B	千円	2,800	2,800	2,100	700	700
内訳	従事職員数	人	0.4	0.3	0.1	0.1
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円	29,778	29,459	28,578	1,200
	県補助金	千円	13,234	13,093	12,701	533
	起債	千円	6,300	6,300	6,300	
	その他	千円				
一般財源	千円	3,118	3,047	2,151	967	896

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	・町が税金を投入して行う必要がありましたか。	● はい いいえ	理由	自然石を敷き詰めたマウンドの上に藻場礁を設置することで藻場からの種子供給が期待され、新たな漁場として関係地区の漁業振興に資するものとして町が行うものである。
	・時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありましたか。	● はい いいえ	理由	磯焼け現象という藻場が減少する自然環境を改善するためには、当該事業を実施する必要がある。
	・事業の対象・目的は適切でしたか。	● はい いいえ	理由	藻場減少の要因である魚による食害を防止する対策を施した藻場礁を設置することで、藻場の回復を図るものであり、漁業者との要望とも一致することから適切である。
有効性	・事業の目的は達成されましたか。	● はい いいえ	理由	網で防護した藻場礁内部には、海藻の種苗を人為的に取り付けており、海藻の生長が期待できる。
	・成果を向上させる余地はありませんでしたか。	● はい いいえ	理由	効果を向上させるために海藻の種苗を地元漁協で中間育成したものを使用した。
	・事業を行わない場合の影響はありませんでしたか。	● はい いいえ	理由	種子を供給する藻場が無いため海藻の減少が進む。
	・類似事業との整理統合はできませんでしたか。	● はい いいえ	理由	単一の事業であり他の事業との整理統合はできない。
効率性	・直接事業費を削減することはできませんでしたか。	● はい いいえ	理由	入札等による削減は可能であるが、設計単価の削減はできない。
	・人件費を削減することはできませんでしたか。	● はい いいえ	理由	計画的に事業を推進するには、これ以上の人件費は削減できない。
	・受益者負担は適正でしたか。	● はい いいえ	理由	受益者負担は発生しない。

改善 (ACTION)

1 次 評 価	○今後の関連事業に対する改善点	特になし。
	○目的が達成されていない場合の課題と改善策	特になし。
2 次 評 価	漁業資源の確保に資する事業であり、設置後の調査を行うことで効果の高め、今後も漁業者及び地元漁協と連携して漁業振興に努めること。	

住民等の意見	
町の対応	

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。